

## 令和4年度 第5回臨時部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和4年10月28日（金） 17時30分から18時00分まで

開催場所：分散型WEB会議（市長公室、A301-302会議室）

出席者：佐藤市長、高田副市長、熊谷教育長、原田総務部長、塚平企画部長、塚平市民協働環境部長、高山健康福祉部長、今産業経済部参事、米山建設部長、毛利建設部参事、田中危機管理部長、土屋上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、和泉議会事務局長、松下教育委員会参与、佐々木財政課長、小室秘書課長、林企画課長、下平リニア推進課長、清水産業振興課長

## 会議内容

## 1 理事者あいさつ

## ＜市長＞

- ・市長に就任して2年が経過する。折り返しの後半2年間も頑張っていきたい。引き続き、よろしくお願いしたい。

## 2 報告事項

## (1) 令和4年飯田市議会第2回臨時会の付議案件について

## ◇趣旨

- ・令和4年飯田市議会第2回臨時会に提出する予定の議案について報告する。
- ・報告案件3件、予算案件1件 計4件

## (2) 令和4年度飯田市一般会計補正予算（第7号）案について

## ◇主旨

- ・令和4年度飯田市一般会計補正予算（第7号）について報告する。

## (3) 令和5年度予算編成方針について

## ◇主旨

- ・令和5年度予算編成方針について報告する。

## ◇議事録

（市長）

- ・令和4年度予算編成の基本方針はもう少し遅い時期であったが、予算要求の途中から方針を示しても反映することが難しいため、この時期まで前倒しした。
- ・令和4年度予算編成の基本方針は、大きな考え方として「コロナ禍を乗り越えて日常を取り戻す」年にするということで方針を出した。令和5年度については、国勢調査の分析によって、市の取り組むべき課題が明確になったことを受け、若い世代、特に女性が住みたい、住み続けたいと思うまちづくりが大事だとする方針としている。若年女性の回帰率が決定的にネックになっていることを受けての取組であり、来年度1年間で答えが出るものではないが、長期的な視点を持ちつつ力を入れて取り組みたい。
- ・「大学のあるまちづくり」については、大学のあるまちといったときに、飯田で足りていないところは何かをしっかりと考え、大学生や研究者が住んでみたい、飯田で研究活動したいと思ってもらえるまちづくりを進めることを大きな柱の1つにした。
- ・「地域DXと情報発信」については、これまでも大きな流れとしては意識すべきものではあったが、本格的に取り組まなければいけない。DXを若年層あるいは地域課題の解決ということも含めて、使うべきツールとして

やっていく。また、情報発信の弱さについては常々指摘されていることから、しっかりやっていきたい。

- ・「持続可能で足腰の強い地域づくり」については、いろいろなものが地元で調達できる、世界経済の影響を受けづらい地域を作っていきたい。地域経済循環の視点からの食料資源エネルギーをはじめとした地元調達に取り組み、改めて農林業、第一次産業について強化をしていく。
- ・環境への取組は、飯田市がこれまで取り組んできたことであり、引き続きしっかりと取り組んでいきたい。また、ゼロカーボンに繋がる視点は行革とあわせて常に考えていただき、ゼロカーボンシティに向けた取組を業務とあわせて予算要求することを検討していただきたい。
- ・コロナ禍の影響は、残念ながら来年度も残る。感染対策から、いかにしてコロナ後の世界を再構築するか。いろいろなものが停滞しているところから、日常を取り戻していくことを大事にしたい。
- ・行革は、同じ予算を使うにしてもより効率的にやることを考えていただきたい。
- ・予算要求を枠の中に収めることを優先した発想から抜け出してもらいたい。これまでにない取組や、やり方の工夫を常に考えてほしい。また、前年と同額要求であればよしとするのではなく、そもそもこの仕事をやるのはどうしてかまで掘り下げて考え、やり方を検討するなど、要求する側も査定する側も考えていただきたい。

### 3 閉会